

令和2年度 学校自己評価計画書

石川県立七尾特別支援学校輪島分校

重点目標	具体的取組	主担当	現状	評価の観点	実現状況の達成度判断基準	判定基準	備考
1	授業実践力の向上	学習支援課	昨年度までの学校研究で、算数・数学の指導について実践を行った。今年度「教員の資質向上事業」で国語について実践を行う中で、学部全体での取り組みを図りながら授業改善を行うことが課題である。	【努力指標】（教員） 各学部ごとに、国語、算数・数学等の教科で研究授業を1人1回行う。	研究授業を行った教諭の人数の割合が A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満 【達成目標B以上】	中間評価が基準に見たない場合は、取り組み体制を検討する。	教員による自己評価 9月と12月
2	組織的・体系的なキャリア教育	進路支援課	各学部で児童生徒の実態に応じて、日常生活の指導、生活単元学習、作業学習などを通して、就労や社会性を育むための取り組みを行っている。さらに、各学部でのキャリア教育の視点を持って指導や授業を行うことが求められている。	【努力指標】（教員） キャリア教育の全体計画を配布し、各学部でキャリア教育重点目標（11項目）を確認する。その目標に基づいて指導を行う。	キャリア教育の重点目標（11項目）のうち、いくつ指導できたかを教員にアンケートをとる。その平均が A：8項目以上 B：6項目以上 C：4項目以上 D：4項目未満 【達成目標B以上】	中間評価が基準に見たない場合は、取り組み体制を検討する。	教員による自己評価 9月と1月
3	安心・安全な学校作り	生活支援課	学校ではいろいろな防災への取り組みを行っているが十分ではない。今年度は、保護者へ周知することにより、保護者と協力しながら防災への意識を高める必要がある	【満足度指標】（保護者） 学校だより、ホームページ、連絡帳、懇談などから、学校の防災教育の取り組みがわかる。	学校での防災教育の取り組みを知っていると答えた保護者の割合が A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満 【達成目標B以上】	中間評価が基準に見たない場合は、取り組み体制を検討する。	保護者によるアンケート調査 9月と12月
4	業務改善に向けた意識改革	全教職員	以前に比べ、教職員の業務改善への意識も向上してきている。しかし、小規模校であるため、一人の教員が複数の業務を担当しているため、負担度が大きい。	【努力指標】（教員） 各自が計画を立てて業務にあたることにより、改善することを目指す。	アンケートの結果、計画をたてて、業務にあたることにより「改善できた」「まあまあ改善できた」と答えた教員の割合が A：AとB合わせて80%以上 B：AとB合わせて70%以上 C：AとBあわせて60%以上 D：AとBあわせて60%未満 【達成目標A以上】	中間評価が基準に見たない場合は、取り組み体制を検討する。	教員による自己評価 9月と1月